一般質問

議案以外の市政全般に関する質問を一般質問といいます。
19人の議員が行った一般質問のうち、主な質問と答弁の要旨等を掲載しています。

一般質問 審議の概要

自由民主党

高橋 卓誠 議員

問 客引き行為を規制する条例の制定に向けたこれまでの取り組みと進捗を伺う。

答 本年4月から関係団体や宮城県警察等と協議を行い、中間案を取りまとめた。

問 交流人口拡大戦略の第一は人材育成であり、内外から人が集まる施策を展開すべき。

答 次世代の観光人材の育成に努め、持続的な交流人口ビジネスの活性化につなげていく。

○観光起業家日本一の都市を目指すことで観光人材の育成を

わたなべ 拓 議員

問 市長は、消防団特別点検の来賓として元本市議会議員の国政野党代議士にのみ招待状を出した。市長はあらゆる党派に公平に対応すべき。

答 通常、県議・市議に送付していたが、対応を誤り誠に申し訳ない。今後は適切に事務を行うよう、全庁に指示した。

○35人以下学級の効果は皆無

○ディスレクシア等の学習障害早期発見の支援体制拡充を

○観光施策の観点から瑞鳳殿弔魂碑裏のトイレを移設せよ

松本 由男 議員

問 健全な財政運営のための仕組みづくりとして、市民が関わることへの見解を伺う。

答 持続可能な都市経営を行うためには、本市の財政状況等について市民に理解を深めてもらうことは重要である。より分かりやすい情報提示に努め、市政への市民の積極的な参画も促していきたい。

○ハザードマップと総合的な治山治水対策の責任の所在

○外国人住民への対応スタンス

○小中一貫教育の検討状況

やしろ 美香 議員

問 人口減少社会下のリカレント教育には、資格取得等により就労の幅を広げるだけでなく、労働の質で数の不足を補う意味があると認識。経済的な観点からの見解を伺う。

答 さまざまな資格取得や高度な学びの場の提供に取り組む企業や大学との連携を、今後進めていきたい。

○G空間プロジェクト

○SOCIETY5・0

○エアコン設置、重すぎるランドセル等学校諸問題の解決

佐藤 正昭 議員

問 市民のためになる新たな総合交通体系の構築に向け、専門家や民間バス事業者も含めた協議会を設置し、全庁横断的に取り組んではいかがか。

答 来年度には検討組織を立ち上げ、その中で、すぐにでも実施可能な施策について全庁を挙げて取り組んでいく。

○老朽化した学校施設の改修時には、子どもたちの体育の機会の確保に配慮した対策を

○放課後等デイサービスの実態把握と質の確保・向上策

鈴木 勇治 議員

問 合併30年となった秋保地区の地域振興の進捗を伺う。

答 市民主体の取り組みが多く展開されていることから、今後はその支援など地域を支える人づくりを推進していく。

問 県道仙台山寺線の鷹ノ巣地区の早急な道路改良を。

答 段階的な検討に入りたい。

○次世代型放射光施設の設置と本市製造業への波及効果

○製造業の施設拡大と都市計画

○スポーツ推進委員会の活動

○事業団主催のスポーツ教室

（公財）仙台市スポーツ振興事業団が実施しているスポーツ教室の様子

渡辺 博 議員

○無縁故者納骨堂の遺骨の安置期間見直し、縁故者調査実施

○地域住民等も加えた総合的な商店街活性化の取り組みを

○国・県と連携した河川管理により市民の安全確保を

○「空き地における雑草の除去に関する条例」の実効性ある運用と効果的な見直し

○切れ目の無い子育て支援

○新たな総合計画では、国際的目標であり都市経営の指針として重要なSDGsを意識して策定すべき

公明党

佐藤 幸雄 議員

問 現実的で実行可能な施策を議論するため、「経済成長戦略2023」の各項目に数値目標を設定すべき。

答 経済団体との意見交換等も踏まえ、来年1月の成案公表時に数値目標を示したい。

○「公文書館」の設置は、民間企業の知見や活力、さまざまな専門家などの知見を活用して推進すべき

○不法投棄された廃棄物に適正に対処し、地域の安全安心のための取り組み強化を

問 佐々木 真由美 議員 ボランティア活動の社会的位置付け、存在価値と本市の支援について市長に伺う。

答 地域社会を豊かにしまちづくりの活力源にもなるものと認識。引き続き、参加しやすい環境づくりに努める。

○ICTを活用した介護支援

○セラピーロボットを介護用福祉用具として助成対象に

○人生手帳（エンディングノート）の導入と終活支援

○SIDS（乳幼児突然死症候群）予防と補助制度の活用

鎌田 城行 議員

問 市政だよりの各戸配布が町内会の大きな負担となっている。実状・希望に応じ選択できる配布方法を検討せよ。

答 経費等も勘案しながら、選択肢を増やす検討を進める。

○障がい者就労支援の推進

○道路のバリアフリー化促進

○ゆずりあい駐車場の拡充

○ヘルプマーク等の普及啓発

○防犯カメラ整備補助の促進

○共同住宅共用部の改修補助

○高齢者の住居確保支援策

○広報掲示板の整備と活用

東京都港区の広報掲示板

日本共産党

庄司 あかり 議員

問 商店街の「まちゼミ」等は集客力向上につながっている。基金を活用し、商店街の個店の売り上げ向上に資する支援メニューと予算を増やすべき。

答 商店街の回遊性を高め、個店の売り上げ向上につながる支援策について、区役所との情報共有も図りながら進めていきたい。

○中小企業の事業承継支援を

○市民の懐を温めて内需主導の循環型経済の構築を

○消費税10％増税に反対せよ

商店街の「まちゼミ」（写真はむにゃむにゃ×連坊×薬師堂オモシロ街教室）

嵯峨 サダ子 議員

問 次期都市計画マスタープラン策定作業は、より市民が参画できる手法で進めるべき。

答 さらなる市民参画を図るための仕組みを他都市の事例なども参考に検討していく。

○豊かで魅力的な都市環境をつくるまちづくり条例の制定

○中高層建築物条例の抜本改正

○憲法25条に反する水道法改正案は廃案にすべき

○上工下水道運営権を民間企業に譲渡するコンセッション方式導入の中止を県に要請せよ

社民党

相沢 和紀 議員

問 霞目雨水幹線から農業排水路へ雨水を分水し、能力アップした排水機場も活用して東部地区の浸水被害解消を。

答 農業排水路への分水は浸水被害軽減に有効。関係機関と連携して対策に取り組む。

○東部地区の地盤沈下とその後の隆起による諸事業への影響

○かさ上げ道路に関する津波遡上防止対策や防音対策

○増加している空き家への対応として、代執行など一歩進んだ対策を講じるべき

排水機場活用により東部地区の浸水被害解消を（写真は二郷堀排水機場）

辻 隆一 議員

問 中小企業活性化基金の活用に当たり、人材育成や地域課題解決など、ソーシャルビジネスの育成という視点を。

答 基金等を活用し、起業家や中小企業がビジネスの視点から社会課題の解決に取り組む環境を充実させていく。

○起業・雇用拡大については市役所全体で取り組むべき

○自治体戦略2040構想研究会報告に対する市長の所見

○「市政だより」など市政広報への市長の関わりについて

アメニティー仙台

渡辺 敬信 議員

○市内小中学校の児童生徒の学習環境充実と教職員の労働環境改善を図るべく、普通教室および職員室への早急なエアコン設置を求める

○市立高等学校の部活動支援強化に予算を確保した上で、施設整備の充実と全国大会で活躍する部活動の育成を

○2020年以降の仙台七夕花火祭の継続開催に向け、現状で白紙となっている打ち上げ場所の確保へ本市が積極的に関与し支援すべき

佐藤 わか子 議員

問 太陽光パネル設置は土砂災害警戒区域を避けるべき。

答 より適切な運用管理に向け国に働き掛けていく。

問 高い強度を誇る木製新素材CLTを活用し、本市林業の活性化につなげるべき。

答 市の木材利用方針にCLT活用を加える検討を行う。

○児童養護施設退所者の支援事業の効果検証のためには生活状況調査の実施が必要

○区役所窓口の休日開設の実施に向けた前向きな検討を

CLTを活用した「東北大学建築CLTモデル実証棟」

市民ファースト仙台

小野寺 健 議員

○仙台市と旧泉市が合併して30年記念となる今年度、何の事業もなく市長の施政方針でも触れられていない。旧泉市では市を二分する議論があり合併に至った。今こそ合併30年の総括が必要。

○町内会への伴走支援の強化。

○市民センターの地域優先利用について、地域の声を聞き地域に寄り添った見直しを。

○泉総合運動場プールの利用休止は市民の反響が大きい。早期の修繕・再開を求める。

早期の再開が待たれる泉総合運動場の屋外プール

問 木村 勝好 議員 公立学校へのエアコン設置実現のため、音楽ホールの建設時期を配慮することもあり得るのか、所見を伺う。

答 新たな施策の実施には、中長期的な視野で財政状況を考慮しつつ、事業の熟度や優先順位等、さまざまな要素を踏まえた総合的な判断が必要。検討を十分深め決断したい。

○いじめ、不登校、ひきこもりの根本的原因は何か

○定禅寺通の活性化と青葉通まちづくりビジョンの関係

みどりの会

平井 みどり 議員

問 独立採算が原則の市立病院の経営の在り方と目指す方向を市長と管理者に伺う。

答 本年7月に経営計画を策定しており、収益の確保やコスト縮減に取り組み、経営基盤の充実・強化に努めている。今後とも市民生活の安全・安心のよりどころとして多くの市民に利用いただける病院づくりに心を配っていく。

○救急患者の受け入れ体制

○夜間当直時の人員配置状況

○市立病院従事者の働き方

市民の安全安心と健康のために無くてはならない市立病院

平成30年第4回定例会は、12月6日（木）開会の予定です。

常任委員会 審議の概要

平成30年9月18日開催

各常任委員会に付託された議案の番号を、委員会名の下にまとめて記載しています。
また、各議案の名称については、8面の会派別議案等賛否一覧表をご覧ください。

総務財政委員会

委員長 柿沼 敏万　副委員長 佐藤 幸雄

付託された議案番号（第98・101号）

〈付託議案審査〉
付託された市税条例の一部を改正する条例ほか1議案のうち、第98号議案は賛成多数で、第101号議案は全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

〈付託議案の質疑項目〉
○土地購入のための補正予算案提案に至った経緯
○取得予定の土地のうち、保育所用地以外の土地の活用予定について
○補正予算の財源としての公共施設保全整備基金の活用について
○市が財産を購入する際の基本原則
○地方税法施行令の改正に伴う本市税収への影響について

市民教育委員会

委員長 鎌田 城行　副委員長 松本 由男

付託された議案番号（第98・99・106～108・112号）

〈付託議案審査〉
付託された自転車の安全利用に関する条例ほか5議案は、全て全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

〈付託議案の質疑項目〉
○条例の対象となる自転車の範囲
○自転車に乗るときのヘルメット着用推進のための啓発について
○自転車押し歩き推進区間の指定の時期および基準について
○自転車損害賠償保険等への加入義務化についての外国人への周知
○整備を検討しているコールセンターの規模および運営費用の想定
○荒井小学校開校時のエアコン設置

健康福祉委員会

委員長 小野寺 健　副委員長 わたなべ 拓

付託された議案番号（第98・102・103号）

〈付託議案審査〉
付託された児童福祉施設条例の一部を改正する条例ほか2議案のうち、第98号議案および第103号議案は賛成多数で、第102号議案は全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

〈付託議案の質疑項目〉
○吉成保育所移転に係る計画立案までの経緯と候補地の検討について
○根岸保育所分園および向陽台保育所民営化に係る事業者決定と職員確保
○家庭的保育事業における調理員の配置について
〈その他の主な質疑項目〉
○中山とびのこ保育園運営法人の監査

経済環境委員会

委員長 やしろ 美香　副委員長 佐々木 真由美

付託された議案番号（第98・100・109～111号）

〈付託議案審査〉
付託された平成30年度一般会計補正予算（第2号）ほか4議案は、全て全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

〈付託議案の質疑項目〉
○成長産業振興事業費の主な内訳
○放射光施設利活用に係る海外先進地視察に当たっての視点
○放射光施設の利活用に向けた、東北全体に大きく影響を与えるようなセミナーの開催
○県営土地改良事業に係る特別徴収金に関する条例の提案理由
○本市域における農地中間管理機構事業の実施状況

都市整備建設委員会

委員長 菊地 崇良　副委員長 高橋 卓誠

付託された議案番号（第104・105・113号）

〈付託議案審査〉
付託された建築基準法の施行に関する条例の一部を改正する条例ほか2議案は、全て全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

〈その他の主な質疑項目〉
○県と県バス協会との間で協定が締結された、女川原発で事故が発生した場合における避難者輸送に際しての市営バスの対応について
○県管理の河川に対する地域要望の実現に向けた県への要請
○仙台駅前の再開発について
○ビッグデータを活用した生活道路の安全対策について

●●●用語解説●●●

本文中に**紫文字**で表記した用語を解説しています。

●リサーチコンプレックス（注1）（3面4段）
地域で集積している研究機関、企業、大学などがそれぞれの活動を融合させ、最先端の研究開発、成果の事業化などを一体的・統合的に展開するための基盤。

●国際リニア コライダー（注2）（3面6段）
地下のトンネルに設置される大規模な素粒子衝突実験装置。ビッグバンの状態を人為的に再現することにより、宇宙創成の謎に迫るとともに、さまざまな科学・産業分野への応用技術の創出が期待されている。北上山地が有力な建設候補地となっている。

●ディスレクシア（注3）（4面1段）
知的能力に異常がないにもかかわらず、読み書きに著しい困難を抱える障害で、学習障害の一種。「読字障害」とも呼ばれ、文字がゆがんで見える、文字の形を記憶できない、文字は読めても意味が理解できないなどの症状がある。

●G空間プロジェクト（注4）（4面2段）
G空間情報（緯度・経度・高度などの位置情報とそれに関連付けられた地図・画像・統計データなどの情報）を活用した新産業、新サービスの創出・発展を目標に産・官・学が共同で推進している計画のこと。

●SDGs（注5）（4面3段）
Sustainable Development Goalsの略で、日本語では「持続可能な開発目標」。2015年9月の国連サミットで採択された国際目標であり、持続可能な世界を実現するための17のゴール、169のターゲットから構成される。

●ハンサムネット（注6）（6面6段）
仙台市が考案した、ごみ集積所に設置する袋状のネットのこと。フェンスやブロック塀にひもでつるすタイプやパイプを使って自立するタイプがあり、ごみの飛散や鳥獣被害の防止、通行への支障の低減などの効果が期待される。

●LSA（注7）（7面1段）
Life Support Adviserの略で、高齢者用の集合住宅等に居住している高齢者に対して、日常の生活指導、安否確認、緊急時における連絡等のサービスを行う者のこと。生活援助員ともいう。

●えるぼし、くるみん（注8）（7面2段）
「えるぼし」は、女性活躍推進法に基づく、女性の活躍推進に関する取り組み状況等が優良な企業の認定マークの愛称。「くるみん」は、次世代育成支援対策推進法に基づく、子育てサポート企業の認定マークの愛称。認定を受けた企業は、マークを商品や広告などに使用できる。

●祖父母手帳（注9）（7面3段）
子育て中の父母世代と祖父母世代が互いに育児への理解を深め、共に楽しく育児に向き合うことなどを目的に、自治体が発行している手帳。昔と今の子育ての違いや、子どもとの遊び方など、「孫育て」に役立つ情報を紹介している。